

教育・ジェンダー・仕事の将来に関するリーダーのアジェンダ

2017年7月世界経済フォーラム

日本語要約版 (2017年8月7日) 石倉洋子

「白書：第4次産業革命が進む中で、人材のリ・スキル（新しいスキル開発）  
をどう促進すべきか」要約版

White Paper on “Accelerating Workforce Reskilling for the Fourth Industrial  
Revolution.”

元のレポートはこちら。 <https://www.weforum.org/whitepapers/accelerating-workforce-reskilling-for-the-fourth-industrial-revolution>

## 課題

—働き方、仕事に必要なスキルは急速に変化しつつある。OECD の調査によれば、成人の4人に一人が、仕事と現在持っているスキルがミスマッチ、2020

年までにどのセクターでも仕事に必要なスキルの 35%が変化する。

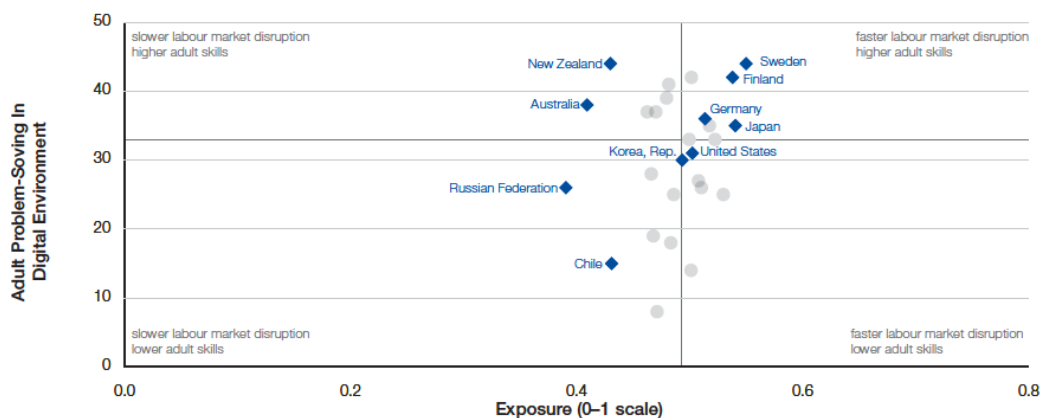
—そのため、成人の新しいスキル開発が必要

—国別に、労働市場の変化と成人のスキルの状況を軸にマッピングすると（下図参照）、かなりの差が有る。例えば、北欧と日本はいずれも労働市場が激変すると思われるが、成人のスキル状況や技術への吸収力はかなり高い。

—リスキリングへのニーズは増しているが、広い範囲にわたり、包括的なリスキリングへのアクセス、その質、供給度合い、いずれも不十分。低コストのデジタルによるトレーニングが登場しているが、それ以上に、労働市場からの需要と学ぶ機会の供給がミスマッチ。

—将来に向けて、全セクターでスキルや能力開発への投資が必要であり、テクノロジーを活用することなどによって、解決への一歩が踏み出せる。

Figure 1. Adult Problem-Solving, Adaptation Skills and Exposure to Labour Market Disruption in Selected Economies



Source: OECD PIAAC data; World Economic Forum.

Note: The PIAAC Indicator provides the share of adult population in the highest 2 levels of performance in problem solving in digital environments. This indicator was chosen to proxy adult skills and performance in increasingly digitalized work environments. The exposure variable captures the availability of the latest technology, economic complexity, pay and productivity measures as well as unemployment components.

## 変革へのアプローチ

—現状のスキル、特にスキルとコンピテンシーをベースとして現在の状況・情報を把握

—今後必要となるスキルの理解—労働市場のニーズと教育機関のリンク

—資金計画のミックス—政府、民間の共同資金提供など

—成人教育へのモチベーションを構築・維持するための労働政策の活用

—短いモジュール化したプログラムによって、継続的なラーニングを促進

—労働組合、政府、民間企業、教育機関などステークホルダーの役割明確化

—OJT など、インフォーマルな機会を促進

—中小企業、低スキルのワーカーや高齢のワーカーへの展開

—成人向けのカスタマイズされた教育法開発

—オフラインとオンラインを組み合わせたスケールの拡大

(注：アプローチそれぞれについての政府、民間、その他の必要アクションの具

体的リストは原レポート参照)

## 成功事例

### 1. 民間企業中心の事例

ATT: 評価と結びついたラーニング、プロフェッショナルの開発プログラム

Saudi Aramco: 社員の満足度をあげ、企業の業績を上げるための投資

Nike/YOUNGONE: バングラデシュにおけるサプライ・チェーンを通じた成人リテラシースキルの開発

中国、インド、イタリーなど各国で行われている Manpower の多様なスキル関連プログラム

CME-カナダ Manitoba におけるカナダ製造輸出協会による SME 対象のピア・プログラム

Beyond Age:高齢のワーカー向けの教育プログラム

## 2. 公的セクター事例

シンガポールの IAL-シンガポールの SkillsFuture Singapore Agency の機  
関 IAL による数々のプログラム

デンマークの国立スキル予測システム

英国で始まった NIACE(高齢のワーカーを対象に新しい成長機会を提供  
するプログラム)

ブラジルのワーカー保護基金

CEDEFOP:EU をカバーするリアル・タイムのスキル需要情報

UNESCO:ラーニング・シティのグローバル・ネットワーク (注:この中  
に日本の市民大学が事例としてあげられている)

## 3. 市民団体・教育機関の事例

Bob Emplo:フランスで創立され、ビッグデータを用いた、失業サービス  
(Pole Emplo) と連携したプラットフォーム

Central Florida : 大学のブレンド型プラットフォーム